

7月6日：VN指数は引けにかけて急落

ホーチミン市場のVN指数は56ポイントを超える下げとなり、1月19日以来の大きな下げ幅を記録した。終値は3.99%（56.34ポイント）安の1,354.79ポイントとなった。

売買高は前日比2%減の8億315万株超、売買代金は前日比2%増の28兆7000億ドンとなった。そのうち1兆7,000億ドンがブロック取引でトレードされた。

VN30指数の組入銘柄のうち、26銘柄が下落。さらにサコムバンク（STB）、ヴィエティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、テクコムバンク（TCB）、TPバンク（TPB）、SSI証券（SSI）、ビンホームズ（VHM）の7銘柄はストップ安をつけた。

他にもペトロベトナムガス（GAS）、FPTグループ（FPT）、ホアファットグループ（HPG）、HDバンク（HDB）、ベトナム投資開発銀行（BID）がそれぞれ6%を超える下げとなった。

ホーチミン市場の出来高に関しては、4,820万株が取引されたホアファットグループ（HPG）が最多となった。銀行株も盛んに売り買いされ、売買高はサコムバンク（STB）が3,850万株、VPバンク（VPB）が3,320万株となった。ヴィエティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、テクコムバンク（TCB）はそれぞれ2,200～2,600万株が売買された。

また証券、石油関連株の主力銘柄のほとんどがストップ安をつけた。

ホーチミン市場ほど下げ幅は大きくなかったが、ハノイ市場にも売りが広がり、HNX指数は一カ月ぶりの急落となった。

HNX指数は2.28%（9.25ポイント）安の318.51ポイントだった。

売買高は前日比21%増の1億6,748万株以上、売買代金は前日比24%増の4兆1,000億ドンとなった。

HNX30 指数の組入銘柄では、第3 ビナコネックス建設 (VC3)、インドシナ輸出入工業投資 (DDG) のみが小幅に上昇し、ハタイ製薬 (DHT) は変わらずだった。サイゴンハノイ証券 (SHS)、MB 証券 (MBS)、バオベト証券 (BVS)、TNG 貿易投資 (TNG) はストップ安を付けた。そして残り銘柄はそれぞれ 6~8% 下落した。

サイゴンハノイ銀行 (SHB) は 386 億 4,000 万株が取引され、ハノイ市場で出来高トップとなった。終値は 0.3% 安の 29,000 ドンだった。

不動産会社のバオトゥ工業投資開発は 9.9% とストップ高を付け、終値は 7,800 ポイントと逆行高を演じた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。